資 料 1

令和7年度の業務実績に係る小項目評価（案）

□ :市長の評価において昨年度と異なる評価、法人と異なる評価及び計画を下回っているとした評価

（ ） :昨年度の評価

区　分	大項目	小項目		P	法人 自己評価	市長による 評価(案)	小項目評価のコメント等 ※ 括弧書きは補足事項
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	1 市立病院として担うべき医療 大項目評価「3」 「3」～「5」の小項目評価の割合 95.73%（22項目／23項目）	⑴ 広島市民病院	ア 救急医療の提供	8	4	4	救急患者の受入れ人数を高い水準で維持するとともに、受入困難事案の受入れにも積極的に対応すること等により、昨年度に続き、多くの救急車及び救急患者を受け入れているなど、年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。 ・救急患者受入れ実績 令和6年度：7,839人、令和7年度：7,481人
			イ がん診療機能の充実	8	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			ウ 周産期医療の提供	10	4 （3）	4 （3）	日本財団母乳バンクからドナーミルクの提供を受ける施設として、広島県内で初めて登録されるなど、年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。
			エ 災害医療の提供	10	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			オ 低侵襲手術等の拡充	11	4	4	内視鏡手術件数が安定的に増加するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・内視鏡手術、内視鏡的治療実績 令和6年度：2,371件、令和7年度：2,507件
			カ 中央棟設備の老朽化への対応	12	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑵ 安佐市民病院	ア 救急医療の提供	13	4	4	円滑なベッドコントロールの推進や地域の医療機関への下り搬送の促進により、昨年度に続き、多くの救急車を受け入れているなど、年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。 ・患者受入実績 救急車　令和6年度：6,356台⇒令和7年度：6,342台
			イ がん診療機能の充実	14	4	4	新たに診療前のがん薬物療法患者を対象とした薬剤師外来を実施したことやＬＥＣＳ等の全国で限られた医療機関でしか実施できない先進的な難易度の高い手術を実施するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
			ウ 災害医療の提供	16	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			エ へき地医療の支援	17	3 （4）	3 （4）	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 令和6年度は、新たに2つの医療機関に医師を派遣したことから、「4」と評価していた。令和7年度は、令和6年度と同数の医療機関に医師を派遣しているが、遠隔画像読影の件数が減少するなど後退している内容もあることから「3」と評価した。
			オ 低侵襲手術の拡充等	18	4 （3）	4 （3）	ハイブリッド手術室での手術件数及びロボット支援手術件数が安定的に増加するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・ハイブリッド手術室の手術実績 （ハイブリッド手術室での適応外手術を除く） 令和6年度：198件、令和7年度：269件
			カ その他	18	4	4	閉院日入院の対象診療科を10診療科に拡大するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・閉院日入院実績 令和6年度：383件⇒令和7年度：414件
		⑶ 舟入市民病院	ア 小児救急医療の提供	20	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 小児専門医療の充実	21	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			ウ 感染症医療の提供	21	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			エ 病院機能の有効活用	22	3 （2）	2	広島市民病院から舟入市民病院へのＭＲＩ検査及びＣＴ検査の依頼件数が増加するなど、一定の成果はみられるが、病床利用率が年度計画を下回っているため、「2」と評価した。 ・病床利用率 年度計画：76.8%⇒実績：63.0%
			オ 障害児（者）の受入体制の充実	23	4	4	在宅支援関係機関等との連携を図り、昨年度に続き、多くの医療型重症心身障害児（者）の短期入所利用者を受け入れるなど、年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。 ・医療型重症心身障害児（者）短期入所実績 令和6年度：778人　⇒令和7年度：759人
			カ 地域に密着した医療機能の充実	23	4	4	在宅療養支援病院として訪問診療を実施するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
		⑷ リハビリテーション病院・自立訓練施設	ア 総合的なリハビリテーションサービスの提供	24	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 回復期リハビリテーション医療の充実	25	4 （3）	4 （3）	重症患者の積極的な受入れにより、重症率が昨年度より上昇する中で、在宅復帰率を向上させるなど、年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。 ・重症率（%） 令和6年度実績：48.4⇒令和7年度実績：48.5 ・在宅復帰率（%） 年度計画：85.0⇒実績：85.5（令和6年度：81.8）
			ウ 自立訓練施設の利用促進	29	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			エ 相談機能の充実と地域リハビリテーションの推進	30	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			オ 災害時の市立病院間のバックアップ機能の強化	32	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。

区　分	大項目	小項目		P	法人自己評価	市長による評価(案)	小項目評価のコメント等 ※ 括弧書きは補足事項
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	2 医療の質の向上 大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100%（9項目／9項目）	⑴ 医療需要の変化、医療の高度化への対応	ア 医療スタッフの知識の習得や技術の向上	33	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 資格取得の促進	35	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			ウ 医療機器の整備・更新	36	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑵ チーム医療の推進		37	4	4	各病院とも取組内容を工夫し、広島市民病院の緩和ケアチームにおいて、新たに新生児の重症心不全児への小児緩和ケアを開始したことや、安佐市民病院の高齢者総合支援チームにおいて、せん妄ケア加算件数が増加したことなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・せん妄ケア加算件数 令和6年度：9,754件、令和7年度：9,970件
		⑶ 医療の安全確保の強化	ア　医療安全対策	49	4 （3）	4 （3）	ペイシェントハラスメントについて、各病院において、対応マニュアルの策定やリスク委員会での事例検討により対策を実施するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
			イ　院内感染防止対策	50	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑷ 医療に関する調査・研究の実施		52	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑸ 災害医療体制の充実		54	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑹ 感染症医療体制の充実		55	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
	3 患者の視点に立った医療の提供	⑴ 病院情報・医療情報の発信		56	4	4	安佐市民病院において病院広報アワード2025のSNS部門において最優秀賞を受賞するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
	大項目評価「3」 「3」～「5」の小項目評価の割合 85.7%（6項目／7項目）	⑵ 法令・行動規範・倫理の遵守		59	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑶ 安心で最適な医療の提供	ア 患者及び家族への相談支援	60	4 （3）	4 （3）	広島市民病院等において、入退院支援件数が増加するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
			イ インフォームド・コンセントの徹底	62	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			ウ セカンドオピニオンの実施	62	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			エ クリニカルパスの活用拡大	63	2	2	舟入市民病院以外の3病院のクリニカルパスの適用率が年度計画を下回っているため、「2」と評価した。 ・クリニカルパス適用率 広島市民病院 年度計画：55.0%⇒実績：52.8% 安佐市民病院 年度計画：55.0%⇒実績：52.3% リハビリテーション病院 年度計画：64.0%⇒実績：62.1%
		⑷ 患者サービスの向上		64	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 安佐市民病院以外の3病院の患者満足度が年度計画を下回っているが、昨年度より「満足」と回答した割合が概ね増加しており、全体としては年度計画を順調に実施していると認められる。
	4 地域の医療機関等との連携 大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100%（9項目／9項目）	⑴ 地域の医療機関との役割分担と連携	ア 病院の役割分担に基づく紹介、逆紹介の促進等	69	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 舟入市民病院の患者紹介率及び患者逆紹介率が年度計画を下回っているが、医療支援センター等による連携の強化等の取組を行っており、全体としては年度計画を順調に実施していると認められる。
			イ 地域連携クリニカルパスの運用拡大	72	4	4	地域の医療機関との連携を進め、地域連携クリニカルパスの運用件数が増加するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・地域連携クリニカルパスの運用件数実績 令和6年度：1,374件、令和7年度：1,512件
			ウ 安佐市民病院の認知症疾患医療センター（地域型）の開設・運用	73	4	4	軽度認知症等に対する抗アミロイドβ抗体薬による治療を実施し、市内の医療機関では最多の治療を行うなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
			エ 重症心身障害児（者）に係る地域の医療機関等との連携	73	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑵ 地域の医療機関への支援	ア 高度医療機器の共同利用	74	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 安佐医師会病院への支援	75	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			ウ 安佐市民病院の地域完結型医療の提供	76	4	4	Ｗｅｂ会議システムによる研鑽・研修に新たに2つの医療機関が参加するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・研鑽・研修へ新規参加した医療機関 庄原日赤病院、神石高原町立病院
		⑶ 保健機関、福祉機関との連携	ア 保健機関、福祉機関との連携	78	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 地域包括ケアシステムの構成員として担う役割	79	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
	5 市立病院間の連携の強化 大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100%（2項目／2項目）	⑴ 一つの病院群としての病院運営の推進		82	4	4	市立病院が相互に連携するための取組を実施した。特に、広島市民病院から舟入市民病院へのＭＲＩ検査及びＣＴ検査の依頼件数が増加するなど、年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。 ・舟入市民病院における広島市民病院からの受入実績 ＭＲＩ検査　令和6年度：895人⇒令和7年度：1,298人 ＣＴ検査　令和6年度：　1人⇒令和7年度：81人
		⑵ 広島市立病院機構医療情報システムの運用		84	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
	6 保健、医療、福祉、教育に係る行政分野への協力 大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100%（1項目／1項目）	保健、医療、福祉、教育に係る行政分野への協力		85	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。

区　分	大項目	小項目		P	法人 自己評価	市長による 評価(案)	小項目評価のコメント等 ※ 括弧書きは補足事項
第２ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	１ 業務運営体制の確立 大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100% （3項目／3項目）	⑴ 迅速かつ的確な組織運営		87	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑵ 業務改善に取り組む風土づくり		87	4 （3）	4 （3）	広島市民病院及び安佐市民病院に共通する経営課題の解決に向け、「経営改革チーム」を発足させるなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
		⑶ ＤＸを活用した病院運営の効率化等		88	4	4	各病院ともＲＰＡによる業務効率化を推進し、職員の作業時間を大きく削減するなど、年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。
	２ 人材の確保、育成 大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100% （9項目／9項目）	⑴ 病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材確保	ア 診療体制の充実	90	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 多様な採用方法と雇用形態の活用	91	4 （3）	4 （3）	看護師の健康保持等を目的とする変則２交代制度を推進し、広島市民病院では新たに５部署に導入するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
			ウ 医師確保の推進	91	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			エ 看護師等の確保の推進	93	4 （3）	4 （3）	SNSの積極的な活用により、安佐市民病院において、看護実習の紹介動画が60万回以上再生されるとともに、リハビリテーション病院において、新たにインターンシップを開催するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
			オ 看護師等の安定的な職場定着の推進	95	4 （3）	4 （3）	４病院全体の看護師の離職率が低下するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・４病院全体の看護師の離職率 令和６年度：7.21%、令和７年度：5.69%
			カ 病院間の人事交流の推進	97	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑵ 事務職員の専門性の向上		97	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑶ 研修の充実	ア 多様な研修機会の提供と参加しやすい環境づくり	98	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 看護師に対する指導・研修の充実	100	4 （3）	4 （3）	新人看護師の離職率が減少するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・新人看護師離職率 R6 広島：9.7%、安佐：6.0%、舟入：31.3%、リハ：0.0% R7 広島：3.0%、安佐：2.7%、舟入：　0.0%、リハ：0.0%
	３ 弾力的な予算の執行、組織の見直し 大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100% （1項目／1項目）	弾力的な予算の執行、組織の見直し		103	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
	４ 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり 大項目評価「3」 「3」～「5」の小項目評価の割合 85.7% （6項目／7項目）	⑴ 病院の実態に即した人事・給与制度の構築		104	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑵ 適切な役割分担と業務の負担軽減		105	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑶ ワーク・ライフ・バランスの推進	ア 育児・介護と仕事との両立の支援	105	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 長時間労働の是正	106	4	4	昨年度比7.2%の時間外勤務を縮減するなど、年度計画を上回っているため、「4」と評価した。 ・時間外勤務 R6：593,840時間、R7：551,230時間
			ウ 年次有給休暇の取得促進	107	3 （2）	3 （2）	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 令和6年度は、一部の医師において、年次有給休暇の取得義務日数を達成できなかったため、「2」と評価していた。
		⑷ メンタルヘルス対策の実施		107	2 （3）	2	ハラスメント防止に関する研修やハラスメント相談員の配置など、昨年に引き続き、意識啓発や対策強化を実施していることは認められるが、職員のパワーハラスメントによる懲戒処分事案が１件発生したため、「2」と評価した。 ・パワーハラスメント概要 内容：暴言　処分対象者：1名
		⑸ 医師等の働き方改革の推進		109	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
	５ 外部評価等の活用 —	外部評価等の活用		110	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
第３ 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	経営の安定化の推進 大項目評価「2」 「3」～「5」の小項目評価の割合 75.0% （3項目／4項目）	⑴ 中期目標期間中の経常収支の黒字化		111	3 （2）	3 （2）	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 物価高騰等を適時に反映できない診療報酬制度の構造があるため、R7年度計画では収支悪化を見込み、経常収支比率及び医業収支比率について、中期計画より低い目標値を設定していた。令和7年度実績では中期計画目標値には届かなかったものの年度計画目標は達成したため、「3」と評価した。
		⑵ 診療科別・部門別の収支状況の把握と迅速な対応		112	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		⑶ 経費の削減		113	4	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 物価高騰等を適時に反映できない診療報酬制度の構造があるため、R7年度計画では収支悪化を見込み、給与費対医業収支比率について、中期計画より低い目標値を設定していた。令和7年度実績では中期計画目標値には届かなかったものの年度計画目標は達成したため、「3」と評価した。
	大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100% （1項目／1項目）	⑷ 収入の確保		116	3	2	すべての病院の病床利用率が年度計画を下回っているため、「2」と評価した。 ・病床利用率 広島市民病院　年度計画：86.3%⇒実績：84.7% 安佐市民病院　年度計画：90.1%⇒実績：85.2% 舟入市民病院　年度計画：76.8%⇒実績：63.0% リハビリテーション病院　年度計画：96.5%⇒実績：94.0%
第４ その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	広域的な医療提供体制に係る調査・研究	広域的な医療提供体制に係る調査・研究		119	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。